

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 5 日 (2021.8.5)

【公表番号】特表 2020-525002 (P2020-525002A)

【公表日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-034

【出願番号】特願 2019-570415 (P2019-570415)

【国際特許分類】

A 0 1 G 7/00 (2006.01)

A 0 1 G 22/05 (2018.01)

A 0 1 G 22/00 (2018.01)

A 0 1 C 1/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 G 7/00 6 0 1 C

A 0 1 G 22/05 A

A 0 1 G 22/05 Z

A 0 1 G 22/00

A 0 1 C 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 25 日 (2021.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

作物植物の果実成分の収量を改善するための方法であって、

前記方法は、

果実成分の収穫前に、処理レジメンに、植物材料を晒す工程であって、処理レジメンが、280nm - 295nm の範囲の少なくとも 1 つの UV 波長に補足された光、および、植物材料からの処理距離、ならびに、約 30mm - 約 120mm の範囲の光源、1 秒あたり約 40 - 60mm の範囲の移動光源の速度、約 90 ~ 約 280 秒の範囲の光源タイミングサイクル、1 日当たり約 380 - 約 500 のサイクルの範囲での 1 日当たりのサイクル数、約 440nm - 約 460nm の青い光の波長、約 640nm - 約 680nm の範囲の赤い光の波長、ならびに約 5 - 約 20 日の範囲の処理レジメンの日数の少なくとも 1 つを含む、工程を含み、UV は別の波長の光と比較して、少なくとも 50% 補足される、方法。

【請求項 2】

少なくとも 1 つの UV 波長は、282nm、285nm、287nm、291nm、および 292nm の少なくとも 1 つでピークに達している、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

植物材料はトマト、イチゴ、およびアサの少なくとも 1 つに由来する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

植物材料は匍匐茎、種子、苗、および植物の少なくとも 1 つである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

作物植物はバラ科の植物に由来する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

バラ科の植物はイチゴ属である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

改善された収量は、果物生重量、収穫された果物の数、ブリックス含有量、果物幅、果物長さ、葉サイズ、葉の表面積、乾燥重量、窒素含有量、シュート乾燥重量、シュート生重量、根乾燥重量、野菜発育、開花する部分、果実部分の収量、果実部分の重量、耐久性、および、種子発芽速度からなる群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

作物植物の果実成分の収量を改善するための方法であって、

前記方法は：

果物が収穫される少なくとも 7 週間前に、280 nm から 290 nm までの範囲の少なくとも 1 つの UV 波長に富化した光を、植物材料に照射する工程を含み、UV - B は別の波長の光と比較して、少なくとも 50 % 補足される、方法。

【請求項 9】

光は 280 nm および 290 nm の少なくとも 1 つの UV 波長に富化される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

光は青い光と赤い光の少なくとも 1 つを含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

光は、少なくとも 1 日と少なくとも 14 日の少なくとも 1 つの期間にわたって処理レジメンを使用して照射される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 12】

光は一日あたり合計で約 10 時間照射される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 13】

植物材料はバラ科の植物に由来する、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 14】

バラ科の植物はイチゴ属である、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

植物材料は果実植物由来である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 16】

植物材料はトマト、イチゴ、およびアサの少なくとも 1 つに由来する、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 17】

植物材料は、匍匐茎、種子、苗、および植物の少なくとも 1 つである、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 18】

改善された収量は、果物生重量、収穫された果物の数、ブリックス含有量、果物幅、果物長さ、葉サイズ、葉の表面積、乾燥重量、窒素含有量、シュート乾燥重量、シュート生重量、根乾燥重量、野菜発育、開花する部分、果実部分の収量、果実部分の重量、耐久性、および、種子発芽速度からなる群から選択される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 19】

果物生重量、収穫された果物の数、または収量は非 UV - B 照射植物材料と比較して、少なくとも 5 % 改善される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 20】

UV - B 波長の放射照度は約 $4 \times 10^{-5} \text{ W cm}^{-2} \text{ s}^{-1}$ ~ $1.3 \times 10^{-4} \text{ W cm}^{-2} \text{ s}^{-1}$ の範囲である、請求項 1 に記載の方法。